

原発がこわい女たちの会  
http://blog.zaq.ne.jp/g-kowai-wakayama/

《 2015年06月 | トップ | 2015年08月 》

検索

2015年07月28日(火)

 検索

原発事故—学校の教科書では

アーカイブ

東日本大震災・東京電力福島第1原発事故について、学校教育の場ではどのように扱われているのだろうか？その一端として教科書の記述はどうなっているのだろうか？

学校教育の場での教科書などの教材は、できる限り事実に基づいて情報が隠ぺいされたり意図的に操作されることのないものでなければならないと思う。政府が「教育の政治的中立」などと、教職員組合を攻撃せんと見当違いにも喧伝するのは異なる次元で。

2011年10月に文部科学省は児童生徒向けの放射線副読本を作成したが、事故に関する記述が殆どなく内容が偏っているという問題点が指摘されてきた。だが教科書の影響するところは、副読本の比ではないと思われる。

6月末～7月初にかけて、教育委員会が主催する中学校用教科書展示会が催されていたので、覗いてきた。これから採択委員会を経て来年度より生徒たちが手にする教科書の見本が網羅されていた。ちなみにいずれも文科省の教科書検定に合格したものだ。少し間が空いてしまったが、各社の扱いを簡単に紹介する。

教科目では社会科(歴史、地理、公民)、理科、技術・家庭科などが対象となると思われるが、ここでは社会(歴史的分野)について記す。発行予定は8種類(8社)と数も多い。以下、該当部分の記述を抜粋してみる(青字で)。

出色の出来、と思えるのは、現職の先生たちが執筆した『ともに学ぶ人間の歴史』である。

●(略)上空に吹き上げられた無色無臭の放射性物質は広い範囲に飛び散り、陸地も海も汚染しました。…低い放射線量でも、長期にわたって被ばくすると、ガンになる可能性が高まります。  
(略)約8万8000人の住民は、政府の指示により、着の身着のまま避難しました。自主的に避難した人も多くいます。避難した人たちは、いったいいつになったら帰れるのか、という不安を抱えながら生活しています。田畑は耕されずに、雑草におおわれ、畜産農家では家畜の世話ができず、牛や豚が死んでいきました。放射線量が高い地域に住んでいる子どもは、線量計を身につけて、放射能と向き合わなければならず、不安とストレスを感じています。汚染された土や家から放射性物質を除去する作業も続いています。東日本の被災地では、大人も子どもも知恵を出し合い、この困難に立ち向かっています。(略)【学び舎p286-287】

と、これでも端折って引用したが、ていねいに分かりやすく記述されている。もくじの見出しもユニークだ。3月11日午後2時46分—大震災と原発事故 ▶被災した15歳 ▶そのとき福島では ▶避難する人びと という具合。この自由で意欲的な試みは全編に共通するらしく、「こんなに歴史はおもしろい！」  
http://manabisha.com/  
というも当たっているかもと思ってしまう。  
(よくぞ文科省検定を通りましたね、というのが偽らざる感想でもある。)

平均的な記述例としては、つぎのようなもの。  
● 2011年3月11日、東北地方の太平洋沖を震源とする(略)また地震と津波により、福島県の原子力発電所で事故が起こり、放射性物質が外部にももれ出しました。放射性物質の広がりは人々に健康や食品への不安を引き起こしました。周辺の住民たちの避難やガレキや汚染水などの処理は現在も続いています。【帝国書院p260】

ほんの数行と僅かだし、ちょっと無味乾燥な記述だが、教科書という性格上そんなものかもしれない、と思いながら他社のページをめくると、

- 2016年11月(2)
- 2016年10月(1)
- 2016年09月(1)
- 2016年08月(2)
- 2016年07月(4)
- 2016年06月(2)
- 2016年05月(1)
- 2016年04月(3)
- 2016年03月(2)
- 2016年02月(3)
- 2016年01月(2)
- 2015年12月(4)
- 2015年11月(2)
- 2015年10月(1)
- 2015年09月(3)
- 2015年08月(3)
- 2015年07月(2)
- 2015年06月(2)
- 2015年05月(2)
- 2015年04月(2)
- 2015年03月(2)
- 2015年02月(2)
- 2015年01月(5)
- 2014年12月(3)
- 2014年11月(2)
- 2014年10月(2)
- 2014年09月(2)
- 2014年08月(1)
- 2014年07月(2)
- 2014年06月(1)
- 2014年05月(3)
- 2014年04月(4)
- 2014年03月(3)
- 2014年02月(1)
- 2014年01月(3)
- 2013年12月(4)
- 2013年11月(1)
- 2013年10月(3)
- 2013年09月(5)
- 2013年08月(1)
- 2013年07月(3)
- 2013年06月(5)
- 2013年05月(3)
- 2013年04月(2)
- 2013年03月(6)
- 2013年02月(2)
- 2013年01月(3)
- 2012年12月(2)
- 2012年11月(1)
- 2012年10月(2)

● 2011年3月11日、東日本をおそったマグニチュード(略)地震と津波による原子力発電所の事故もおこり、多くの人々が避難生活を強いられた。この災害の中でも肉親の死の悲しみを乗り越えて冷静沈着に行動した被災者の振るまいは、世界の人々をおどろかせ称賛された。【自由社p273】

● (略)被災地の人たちの公共心やがまん強さ、責任感などは世界からたたえられました。また津波などによっておきた福島県の原子力発電所の事故のために多くの周辺住民が避難生活を送らなければならなくなり、これからのわが国のエネルギー政策をどうすべきかが議論されています。【育鵬社p272】

● (略)2011年の東日本大震災は私たちに防災やエネルギー面での課題に気づかせる一方で、地域の絆とボランティア活動の重要性を明らかにしました。(略)助け合う日本を創っていくことが求められています。【東京書籍p262】

いったい何なんでしょう？！被災者を美談で仕立てておしまいですか。世界から称賛されるのもいいけど、それにボランティア活動も大事だけれど、その前に、歴史の学習で福島原発事故から国民が学ばなければならない基本的なことがあるでしょうーが！！  
限られた紙面の中で、生徒の発達段階に応じ、どれだけのことをどのように表現するかで、その教科書の編集者と執筆者は苦心奮闘されているのだと推察するが、この自由社、育鵬社、東京書籍の3つは論外だと思わずにはいられない。

ただし、東京書籍については、歴史分野では少ない代り、公民分野で原発(エネルギー政策)の歴史、現状、課題を扱っている。原発推進を支えた電源三法、原発事故による避難生活、汚染水、除染、風評被害、原発の安全対策と規制委員会、日本と世界のエネルギー政策など、他社と比較しても充実した内容といえる。

千年に一度といわれるこの大災害について、わかっていることを包み隠さず示して、これからの時代に生きる子どもたちが自分の暮らしから社会のあり方まで主体的に生かして行ける、その足がかりをもっと大切にすべきだと思う。

ついでに:  
文科省の教科書検定では、検定基準の見直し(中学校では社会の教科書が対象)が行われ、政府見解がある場合それに基づいた記述をすることや改訂教育基本法をふまえた愛国心の強調など、物議をかもしたのは記憶に新しい。NHKの「時事公論」(4月7日)でも取り上げていた。  
<http://www.nhk.or.jp/kaisetsu-blog/100/213745.html>

さらに、本年4月には平成28年度使用教科書の採択について各都道府県教育委員会教育長宛てに「教科書採択の公正確保について」通達が出されている。  
[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/hakusho/nc/1356555.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/nc/1356555.htm)

曰く  
採択の適正、公正の確保に問題がある場合には、教育委員会等において適切な措置を講ずるとともに、その都度速やかに文部科学省教科書課宛てに報告する、採択に係る会議は公開、非公開を適切に判断する、公開の場合には傍聴に関するルールを定める、と事細かに指示している。八重山教科書問題などもあったせいだろうか。さらに、採択事務に支障をきたすような事態が生じたら警察等の関係機関と連携を図る、に至っては何をかいわんや、である。

教育への政治介入、教育統制はここまで来ているのですね。

もう一つついでに:  
東京都教育委員会は23日の定例会で、都立中高一貫校10校と都立特別支援学校22校で来春から使う中学生の歴史と公民の教科書に、「新しい歴史教科書をつくる会」系の育鵬社版を採択したとのこと・・・。

2015-07-28 | 記事へ | コメント(0)

2015年07月17日(金)

## 「安保法制」、強行採決に抗議します

2012年09月(2)  
2012年08月(2)  
2012年07月(4)  
2012年06月(4)  
2012年05月(3)  
2012年04月(1)  
2012年03月(1)

### 最新コメント

[日韓の原発事情、国 by 民守正義(08/21)  
そもそも、我が和歌 by 清水俊幸(07/25)  
コメントありがとう by sora(12/05)  
突然すみません。東京 by 里美(11/22)  
10/26と11/29のチケッ by 角谷(10/23)  
starさんコメントあり by sora(09/14)  
このブログを読むまで by star(09/13)  
こんにちは。メッセ by わんこ(04/15)  
現在稼働している大飯 by star(04/09)  
廃炉産業を起こしてほ by kaziharayosiyuki(03/14)

### カレンダー

< 2015年07月 >						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

### 最新記事

琵琶湖が危ない 老朽原発美浜3号も廃炉に！ 11・13  
琵琶湖集会(11/15)  
汐見文隆先生、ありがとうございました(11/08)  
原発がこわい女たちの会ニュース99号発行(10/12)  
高速増殖炉もんじゅ廃炉へ(09/27)  
老朽原発・美浜3号機は廃炉に！パブコメを出そう(08/28)  
ピースボートで韓国古里(コリ)原発を見学してきました(08/21)  
熊本地震の経験から原発の耐震性見直しを要求し、25団体で共同声明を出しました(07/22)  
老朽原発・関西広域連合へ要望書と和歌山県との話し合い(07/17)  
原発のない社会を投票で示そう！(07/05)



この写真を撮った3日後には、右側のポスターは消えていました…。

安全保障関連法案について新聞各社の世論調査でも5～6割が反対、全国の300を超える地方議会から反対もしくは慎重審議をもとめる意見書、国会の周りや全国に広がる怒りのデモ、等々にもかかわらず(だからこそ?)、自民・公明両与党の強行採決により可決。

「国民も消費税や年金問題と違い、すぐに直接の影響がない法案は、成立すれば国民はすぐに忘れる」とは首相に近い参議院議員の発言だそうです(7月16日 朝日新聞)。国民もずいぶんと舐められたもの。

15日衆議院特別委員会も16日の本会議も、どういうわけだか天下のNHKが国会中継をしないので、インターネット中継で視聴しました。アベさんの答弁は、饒舌だけど重要なところになるとはぐらかしばかり、これでは審議に何百時間かけようが意味ありません。

原発がこわい女たちの会  
ニュース98号発行(07/04)

SCHEDULER

ナビゲーション

トップ  
記事の投稿  
管理  
RSS  
[ログアウト](#)

BLOGariは2017年1月末  
サービス終了します



12日に行われた和歌山弁護士会主催の「憲法違反の安保法制に反対する和歌山大集会&パレード」に参加したが、会場となった和歌山城西ノ丸広場にはあふれんばかりの参加者でした。子ども連れやかなりお年を召した方も大ぜい

(暑くてたいへんでしたね)。主催者発表では参加者2500人。いつもの定例デモ人数をゆうに20倍はこえています。もう黙ってじっとしてられない、という思いの人が和歌山にもこれだけたくさんいるのだな、と意を強くしました。

異論はいずれ収まる、国民はすぐに忘れる、などと権力は国民を舐めきっていますが、決して忘れないで、**異議申立をし続けましょう**。あきらめないで、大切なのはこれからです。違憲の政府をこのままにしておくわけにはいきません。日本の民主主義が問われています。問われているのは私たちです。

(sora)

---

2015-07-17 | [記事へ](#) | [コメント\(0\)](#)

 RSS 2.0